

令和 5 年度

シラバス

青翔開智中学校

第 1 学年

## もくじ

国語	3~4
社会	5~6
数学	7
理科	8
音楽	9
美術	10
保健体育	11~12
技術・家庭	13~14
英語	15
道徳	16
総合的な学習の時間	17

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	国語	現代文	3	必修	ホームルーム

科目的目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。 (2)社会生活における人の関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
評価の観点	<b>知識・技能</b> 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しみたり理解したりすることができるようとする。	<b>思考・判断・表現</b> 筋道立てで考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようとする。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト・小テスト	ペーパーテスト・論述・レポート・探究スキルラーニングで評価する成果物など	探究スキルラーニングで評価する成果物等・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価・相互評価等の活用・提出物への取り組みなど
教科書・教材	光村図書『国語1』・育伸社『ワーク中1国語(光村図書「国語1」準拠)』・桐原書店『セレクト漢字検定 5級～2級』・エデュケーションネットワーク【新版】標準 新演習 中1』・大修館書店『ビジュアルカラー国語便覧』		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	・ガイダンス	1	
	・「野原はうたう」【知識・技能①】言葉 オ】比喻・反復・倒置・体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	7	成果物
	・「言葉を調べる」辞書・辞典の使い方(図書館利用)	2	
	・「シンジケン」【読むこと イ】場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉える。	8	ペーパーテスト①
	・「聞き上手になろう」対話の練習	3	
	・「ダイコンは大きな根？」	8	ペーパーテスト②
	【読むこと ア】段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。		
	・「ちょっと立ち止まって」	8	ペーパーテスト③
	【読むこと ア】文章全体の構成に着目し、文章の要旨を捉える。		
	・探究スキルラーニング「ビブリオバトル」(図書館利用)	10	発表
	【話すこと・聞くこと ウ】聞き手の反応を見ながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように話し方を工夫する。		
	・「読書を楽しむ」／読書感想文(図書館利用)	4	感想文
	【書くこと イ】段落の役割や文章の構成を意識して、本から得た自分の考えを書く。		
	・「星の花が降るころに」	8	ペーパーテスト④
2学期	【読むこと ウ】場面と場面、場面と人物などの描写を結びつけて、作品を読み深める。		
	・『『言葉』をもつ鳥、シンジュウカラ』	8	ペーパーテスト⑤
	【知識・技能②】情報 ア】筆者の意見と根拠との関係を理解する。		
	・「情報を集めよう」「情報を読み取ろう」「情報を引用しよう」	2	
	・探究スキルラーニング「根拠を示して説明しよう」(図書館利用)	10	成果物
	【知識・技能②】情報 イ】引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使う。		
	【書くこと ア】目的や意図に応じて題材を決め、集めた情報を整理して伝えたいことを明確にする。		
	【書くこと ウ】根拠を明確にして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。		
	・「話題や展開を捉えて話し合おう グループディスカッション」	6	グループ活動・発表
	【話すこと・聞くこと ア】目的や場面に応じた話し合いの話題を決め、集めた材料を整理しながら話し合う。		
3学期	【話すこと・聞くこと オ】話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめる。		
	・「不便」の価値を見つめ直す」	8	成果物
	【読むこと オ】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持つ。		
	【書くこと イ】書く内容の中心を明確にし、文章全体の構成や展開を考えながら要約する。		
	・「考える人になろう」読書に親しむ・本の世界を広げよう 読書推薦文(図書館利用)	4	推薦文
	【書くこと イ】書く内容の中心を明確にし、文章全体の構成や展開を考えながら要約する。		
	・「少年の日の思い出」	12	ペーパーテスト⑥・創作文
	【知識・技能①】言葉 ウ】文脈上の語句の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。		
	【読むこと イ】場面の展開や表現の効果、語り手に着目して、作品を読み深める。		
	【書くこと オ】語り手を変えて書き換えた文章を他者と共有し、読み手からの助言を踏まえて自分の文章のよい点や改善点を見出す。		
	・「1年間の学びを振り返ろう」	8	発表・成果物
	【話すこと・聞くこと ア】観点を決めて1年間の学習を振り返り、整理した情報を基に、発表する内容を選ぶ。		
	【話すこと・聞くこと ウ】聞き手の反応を確かめながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように言葉や表現を工夫する。		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	国語	古典	2	必修	ホームルーム

<b>科目の目標</b>	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。 (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。			
	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
<b>評価の観点</b>	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しみながら理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かめながらにすることができるようになる。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト	ペーパーテスト・成果物・探究スキルラーニングで評価する成果物など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など	
<b>教科書・教材</b>	光村図書『国語1』・育伸社『ワーク中1国語(光村図書「国語1」準拠)』・大修館書店『ビジュアルカラー国語便覧』・教育出版『中学書写』			

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	・ガイダンス・百人一首(通年)		1	
	・言葉の単位		5	
	【知識及び技能(1) エ】言葉の単位について理解すること。			
	・文の組み立て		5	ペーパーテスト①
	【知識及び技能(1) エ】文の組み立てについて理解すること。			
	・指示語・接続語		2	
	【知識及び技能(1) エ】指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。			ペーパーテスト②
	・単語の分類		6	
	【知識及び技能(1) エ】単語の類別について理解すること。			
	・楷書で書こう		7	作品
2学期	【知識及び技能(3) エ(ア)】字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。			
	・名詞		2	
	【知識及び技能(1) エ】名詞について理解すること。			
	・動詞		9	
	【知識及び技能(1) エ】動詞について理解すること。			ペーパーテスト③
	・形容詞		3	
	【知識及び技能(1) エ】形容詞について理解すること。			
	・形容動詞		3	
	【知識及び技能(1) エ】形容動詞について理解すること。			
	・竹取物語・蓬莱の玉の枝(図書館利用)		10	
3学期	【知識及び技能(3) ア】古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。			ペーパーテスト④
	【知識及び技能(3) イ】古典には様々な種類の作品があることを知ること。			
	・探究スキルラーニング「楷書と仮名を調和させて書こう」		8	作品
	【知識及び技能(3) エ(ア)】字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。			
	・今に生きる言葉(図書館利用)		12	
	【知識及び技能(3) ア】古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。			ペーパーテスト⑤
	【知識及び技能(3) イ】古典には様々な種類の作品があることを知ること。			
	・行書で書いてみよう		5	作品
	【知識及び技能(3) エ(イ)】漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	社会	地理	2	必修	ホームルーム

科目的目標	日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させる。 地域の規模に応じて環境条件や人間の暮らしなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。また、地域相互の関連性・共通することと違いことは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	新しい社会 地理(東京書籍) 中学社会科地図(帝国書院) 中学必修テキスト 社会地理(東京書籍)		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	○世界と日本の姿 ・地球儀と世界地図 ・地球上の位置 ・世界の様々な住居 ・世界に見られるさまざまな気候と広がり ・人々の生活に根付く宗教	18	ペーパーテスト① 授業内レポート	
	探究スキルラーニング「世界旅行計画を作ろう」	14	プレゼンテーションの制作	
	○世界のさまざまな地域 ・アジア州	6	ペーパーテスト② 授業内レポート	
	探究スキルラーニング「Google Earthでプロジェクト作り」	4	成果物	
	・ヨーロッパ州	6	ペーパーテスト③ 授業内レポート	
	・アフリカ州	6	授業内レポート	
	・北アメリカ州	6	ペーパーテスト④ 授業内レポート	
	・南アメリカ州	6	ペーパーテスト⑤ 授業内レポート	
	・オセアニア	6	授業内レポート	
	探究スキルラーニング「オリジナル地図作り」	6	成果物	
3学期	探究スキルラーニング「オリジナル地図作り」	6	成果物	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	社会	歴史	2	必修	ホームルーム

<b>科目の目標</b>	歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。 国家・社会及び文化的発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらまじを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関する心をもたせ、国際協調の精神を養う。 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。		
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につけ、社会生活の中で活用することができる	歴史的事象から課題を見いだし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。	歴史的事象に関する関心を高め、意欲的に追求し、社会を構成する一員としての自覚と責任を考えることができる。
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
<b>教科書・教材</b>	新しい社会 歴史(東京書籍) 中学必修テキスト 社会歴史(東京書籍)		

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	○歴史へのとびら ・歴史をどう見る見方・考え方		3	
	○古代までの日本 ・世界の古代文明と宗教のおこり		6	ペーパーテスト①
	・日本列島の誕生と大陸との交流		4	
	・古代国家の歩みと東アジア世界① 聖徳太子～平城京の暮らし		6	
	・古代国家の歩みと東アジア世界② 平安京～国風文化		6	ペーパーテスト②
	課題作成「THE・古代～日本を変えたキーパーソンはこの人～」		5	成果物
	○中世の日本 ・武士の政権の成立		6	
	・鎌倉時代の文化と宗教		2	
2学期	○ユーラシアの動きと武士の政治の展開① モンゴル帝国～南北朝動乱		6	授業内レポート
	・ユーラシアの動きと武士の政治の展開② 室町幕府～戦国大名の台頭		6	ペーパーテスト③
	探究スキルラーニング「日本の武士は強い？弱い？～元寇から考える世界との比較～」		4	成果物
	○近世の日本 ・ヨーロッパとの出会いと全国統一① 中世ヨーロッパ～ヨーロッパ世界の拡大		4	
	・ヨーロッパとの出会いと全国統一② 織田信長・豊臣秀吉～桃山文化		4	ペーパーテスト④
	○近世の日本 ・江戸幕府の成立と対外政策		4	
	・産業の発達と幕府政治の動き① 農業の発達～元禄文化		4	
	・産業の発達と幕府政治の動き② 享保の改革～外国船の出現		4	ペーパーテスト⑤
3学期	課題作成「幕府の改革は成功したのか？」		4	成果物

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	数学	数学	5	必修	ホームルーム

科目の目標	(1) 各単元についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の性質や文字を用いた数量関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表し、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・探究スキルラーニング成果物	授業中の発言や取り組みなど
教科書・教材	数研出版 日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせるこれからの数学1, 人工知能型教材Qubena, 旺文社 中学総合的研究 問題集		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス／正の数・負の数	20		
	文字と式	20	ペーパーテスト①	
	方程式	20	ペーパーテスト②	
	比例と反比例	25	ペーパーテスト③	
	平面図系	10	ペーパーテスト④	
	空間图形	15	ペーパーテスト⑤ ペーパーテスト⑥	
2学期	資料の整理 探究スキルラーニング「TOTRVEL」	10	ペーパーテスト⑦ 成果物(ポスター)	
	式の計算	10	ペーパーテスト⑧	
	連立方程式	15		
	一次関数	20	ペーパーテスト⑨	
	図形の性質と合同 三角形と四角形	15	ペーパーテスト⑩ ペーパーテスト⑪ ペーパーテスト⑫	
3学期	三角形と四角形	15	ペーパーテスト⑬	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	理科	理科	4	必修	ホームルーム

科目的目標	自然の事物・現象に問わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するためには必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などをを行い、科学的に探究する力を養う (3)自然の事物・現象に進んで問わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	レポート・発表・作品の制作など	授業の振り返り記入・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	啓林館「未来へひろがるサイエンス1」、新学社「理科の自主学習1年」(自主学習ノート、計算・作図トレーニング含む) 浜島出版「最新 理科便覧」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス(科学的な視点)・理科室の使い方	2	
	1章 植物の特徴と分類	28	成果物 レポート ふりかえり 単元テスト1
	探究スキルラーニング「生け雑草」		
	2章 動物の特徴と分類	22	成果物 レポート ふりかえり 単元テスト2
	探究スキルラーニング「バイオミメティクス」		
2学期	1章 身近な大地	3	
	2章 ゆれる大地	5	
	3章 火をふく大地	5	
	4章 かたる大地	5	単元テスト3
	4章 物質のすがたとその変化	8	レポート3
	3章 水溶液の性質	8	単元テスト4 レポート4
	1章 いろいろな物質とその性質	8	
	探究スキルラーニング「物質同定実験」		成果物 ふりかえり
	2章 いろいろな気体とその性質	8	単元テスト5 レポート5
	3章 力による現象	10	レポート6
3学期	1章 光による現象	17	レポート7
	2章 音による現象	17	単元テスト6
	探究スキルラーニング「手作り楽器コンクール」		成果物 ふりかえり
	中1内容の総点検 中2内容への橋渡し	10	行動観察

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	音楽	音楽	1	必修	ホームルーム

<b>科目の目標</b>	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。		
<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b> 曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性を理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。	<b>思考・判断・表現</b> 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができるようになる。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
<b>評価の方法</b>	ペーパーテスト・実技テスト(歌唱・アルトリコーダー演奏・リズム制作)など	ペーパーテスト・鑑賞のレポート・グループワークなど	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
<b>教科書・教材</b>	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)、アルトリコーダー、音楽ノート①		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	バロック時代の弦楽協奏曲の鑑賞「春」第1楽章	2	鑑賞のレポート	
	指揮をする時のポイント「指揮をしてみよう！」	2	指揮の実技	
	詩の内容と曲想の変化の鑑賞「魔王」	2	鑑賞のレポート	
	日本の伝統音楽である筝曲の鑑賞「六段の調べ」	2	鑑賞のレポート	
	リズムアンサンブルの楽しみ「リズムゲーム」	2	リズム制作	
	1学期のまとめ	1	ペーパーテスト①	
	リズム表現	1	実技テスト①	
2学期	曲の構成を感じ取った歌唱「主人は冷たい土の中に」	3	歌唱の実技	
	アルトリコーダーの運指表の理解	1	運指表の記入	
	運指を理解してアルトリコーダーを演奏「喜びの歌」	2	アルトリコーダー演奏の実技	
	発音と発声に気をながら日本歌曲を歌唱「赤いんぼ」	3	歌唱の実技	
	リズミカルなアルトリコーダー演奏「聖者の行進」	3	アルトリコーダー演奏の実技	
	演奏順を理解した歌唱「カリブ夢の旅」	3	歌唱の実技	
	2学期のまとめ	1	ペーパーテスト②	
	「聖者の行進」のアルトリコーダー演奏	1	実技テスト②	
	「赤いんぼ」の歌唱	1	実技テスト③	
3学期	曲のイメージを感じた鑑賞「ジョーズのテーマ曲」	1	鑑賞のレポート	
	音のつながりを考えた創作「My Melody」	2	楽譜制作	
	音楽用語・記号の読み方と意味の理解「音楽の基礎知識Ⅰ」	3	音楽ノートの記述	
	ミュージカル映画の鑑賞「サウンド・オブ・ミュージック」	2	鑑賞のレポート	
	3学期のまとめ	1	ペーパーテスト③	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	美術	美術	1	必修	ホームルーム

科目的目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようとする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようとする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
評価の観点	<b>知識・技能</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している 意図に応じて表現方法を工夫して表している。		<b>思考・判断・表現</b> 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 美術の創造活動の喜びを味い、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト 提出作品 ワークシート		ペーパーテスト グループ制作 作品の合評	スケッチブックへの記述・描画 授業中の発言 教師による行動観察
教科書・教材	光村図書 美術 I			

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション		1	
	生物デッサン		2	提出作品・取り組み観察
	自画像		3	提出作品・取り組み観察
	観賞 ウォークビュー(博物館出前授業)		1	取り組み観察
	観賞 前授業のレポート作成		1	レポート
	透視図		3	提出作品・取り組み観察
	相互鑑賞			
	イメージ画「必要な空間」		3	提出作品
	相互鑑賞			
	解像度		2	提出作品・取り組み観察
2学期	モザイク画		2	提出作品・取り組み観察
	レタリング		3	提出作品・取り組み観察
	ロゴマーク		3	提出作品・取り組み観察
	ポスター		4	提出作品・取り組み観察
	相互鑑賞			
	絵手紙		1	提出作品
	立体 割り箸で椅子を作る		4	提出作品・取り組み観察
3学期	相互鑑賞			
	バラバラ漫画		4	提出作品・取り組み観察
	相互鑑賞			
			2	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	保健体育	保健体育(男子)	3	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。		
評価の観点	<b>知識・技能</b> 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	<b>思考・判断・表現</b> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えていく。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	保健体育、中学保健体育ノート、図解中学体育		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	7	・新体力テスト結果等	
	陸上 ・走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	12	・単元テスト① ・実技テスト	
	球技1 ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	12	・単元テスト② ・実技テスト	
	球技2/体育理論 ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	12	・単元テスト③ ・実技テスト	
	球技3/体育理論 ゴール型「バスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(バスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	12	・単元テスト④ ・実技テスト	
2学期	球技4/体育理論 ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	12	・単元テスト⑤ ・実技テスト	
	球技5 ゴール型「サッカー」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、トラップ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	12	・単元テスト⑥ ・実技テスト	
	武道:空手 ・基本形、約束組手	6	・単元テスト⑦ ・実技テスト	
3学期	器械運動 ・マット、跳び箱 保健 ・心身の機能の発達と心の健康	12	・単元テスト⑧ ・実技評価チェックシート	
	球技6 ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	12	・単元テスト⑨ ・実技テスト	
	ダンス ・現代的なリズムのダンス	8	・ダンス発表会	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	保健体育	保健体育(女子)	3	必修	男女別

科目的目標	体育や保健の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。		
評価の観点	<b>知識・技能</b> 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	<b>思考・判断・表現</b> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えていく。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	保健体育、中学保健体育ノート、図解中学体育		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	7	・新体力テスト結果等	
	球技1/体育理論 ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	12	・単元テスト① ・実技テスト	
	陸上 ・走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	12	・単元テスト② ・実技テスト	
2学期	球技2 ネット型「ハッピーボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(バス、サーブ、アタック、攻撃と守備の原則の理解)	12	・単元テスト③ ・実技テスト	
	球技3/体育理論 ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	12	・単元テスト④ ・実技テスト	
	球技4/体育理論 ゴール型「ハンドケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(バスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	12	・単元テスト⑤ ・実技テスト	
3学期	球技5 ネット型「ハドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	12	・単元テスト⑥ ・実技テスト	
	武道:空手 ・基本形、約束組手	6	・単元テスト⑦ ・実技テスト	
	ダンス ・現代的なリズムのダンス	12	・ダンス発表会	
	器械運動 ・マット、跳び箱			
	保健 ・心身の機能の発達と心の健康	12	・単元テスト⑧ ・実技評価チェックシート	
	球技6 ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	8	・単元テスト⑨ ・実技テスト	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	技術・家庭	技術	1	必修	ホームルーム

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	ペーパーテスト・実技・授業カルテ	ペーパーテスト・発表・グループ活動・作品の製作・授業カルテ	提出物・授業中の発言や取り組み
教科書・教材	技術・家庭(技術領域)(開拓堂)		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	1		
	情報とわたしたちの生活	2	レポート	
	・身の回りの情報技術について学ぶ。便利な生活、社会、産業などを支えている情報機器やネットワーク技術について学ぶ。			
	コンピュータと情報処理			
	・情報処理の基本から、メディアの素材と利用方法や適切なアプリの選択について学ぶ。	2	ペーパーテスト	
	計測・制御のプログラミングによる問題の解決			
	・タブレットとワーカーを活用し、プログラミングの基礎を学ぶと共に、プログラミング的思考力を身につける。	2	プログラムの制作	
	・プログラムの試行・試作を通して設計を具体化し、制作工程表にまとめる。	2		
	・制作工程表をもとに、安全・適切なプログラムを作成する。	2	プログラムの制作	
	・動作の確認及びデバッグを行う。	2	作品提出	
2学期	生活や社会を支える材料と加工の技術	2	ペーパーテスト	
	・身の回りの製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。			
	生活で役立つ製品をデザインする技術	3	ペーパーテスト	
	・等角図法および第三角法による正投影図法を身につけ、製図のルールを知る。			
	材料を利用するための技術	2	レポート	
	・木材の特徴と加工方法と身の回りの製品や社会の中にあるじょうぶにするための工夫を調べる。			
	課題の設定と設計	4	試作品提出	
	・身の回りの生活の中から収納に関わる問題を見いだし、設定した課題に基づき、製作物を構想・試作する。			
	・課題を解決する製作品の設計図・工程表を具体化する。	3	図面提出	
3学期	製作のための技能(木材)			
	・製作品の材料取りを行う。	2	実技テスト	
	・切断作業を行う。	2	実技テスト	
	・組立てにむけて必要な部品加工を行う。	2	実技テスト	
	・製作品の組立てを行う。	2		
	・製作品の仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正を行う。	2	作品提出	
	これからの材料と加工の技術			
	・よりよい生活を実現する材料と加工の技術の在り方について話し合い、自分の考えを発表する。	2	プレゼンテーション	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	技術・家庭	家庭	1	必修	ホームルーム

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。		
評価の観点	知識・技能 生活と技術について理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけているか。	思考・判断・表現 生活や社会の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を構想し実践しようとしているか。実践した内容を「評価する」、「改善に向けて『表現する』など課題を解決する力を身につけているか。	主体的に学習に取り組む態度 よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組み、ふりかえって「改善する」、「生活を工夫し創造する」など実践しようとしているか。
評価の方法	授業カルテ・ワークシート・実技	授業カルテ・ワークシート・発表・グループ活動・作品の製作	提出物・授業中の発言や取り組み
教科書・教材	「技術・家庭 家庭分野」開隆堂出版		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	○家庭科ガイドンス	1		
	○衣生活			
	「目的に応じた衣服の選択」		提出物	
	衣服で伝えるメッセージ	2	学習に取り組む態度	
	自分らしくコーディネート	3	作品の製作	
	つなげよう和服の文化	2		
	上手な衣服の選択	2		
			ペーパーテスト①	
2学期	「日常着の手入れと保管」			
	衣服の汚れと手入れ	2		
	衣服の繊維に応じた手入れ	2	提出物	
	衣服の洗濯	2	学習に取り組む態度	
	衣服の収納・保管・補修	3	作品の製作	
	持続可能な衣生活をめざして	2		
	○布を用いたモノの製作	8		
			ペーパーテスト②	
3学期	○住生活			
	住まいのはたらき	2		
	住まいの空間	2	提出物	
	安全な住まいで安心なくらし 家庭内事故への備え	2	学習に取り組む態度	
	災害への備え	2		
	持続可能な住生活をめざして	2		
			ペーパーテスト③	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	外国語	英語	6	必修	ホールルーム(1学期) 習熟度別(2・3学期)

科目の目標	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方をつかせ、英語を聞くこと・読むこと・話すこと(やり取りと発表)・書くことの言語活動を通して英語と共感することで、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力や情報リテラシーの能力を育成することを目指す。本学年は在籍中に英検4級取得を目指す。また、英語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容の精神を獲得し、母語や英語の違いを体感することによって、多面的思考ができるようになる。		
評価の観点	<b>知識・技能</b> 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたたりしている内容を扱える技能を身に付けています。また、事実や自分の気持ちなどを、簡単な表現で相手に伝え合ったり、話したり、書いたりしている。	<b>思考・判断・表現</b> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について聞いたり読んだりして必要な情報や概要、要点を捉えている。また、事実や自分の気持ちなどを、簡単な表現で相手に伝え合ったり、話したり、書いたりしている。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 外国语の背景にある文化に対する理解を深め、話し手や書き手などに配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞くうどしたり、書かれたことを読みうどうしたり、伝え合ううどしたり、話そどうしたり、書こうとしている。
評価の方法	単元テスト 探究スキルラーニング成果物など	単元テスト(リスニング・リーディング・スピーキング 含む) 探究スキルラーニング成果物など	単元テスト(リスニング・リーディング 含む) 探究スキルラーニング成果物など
教科書・教材	NEW CROWN English Series 1、チャックで英単語 Basic 第2版(以上、三省堂)はじめのジョリーフォニックス、ステューデントブック1・2(東京書籍)、New Treasure English Series Stage 1 Third Edition、New Treasure English Series Stage 1 Third Edition 文法問題集(以上、Z会)、Weblio英会話(GRASグループ株式会社)、人工知能型教材Qubena(株式会社Compass)		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション	1	
	はじめてのジョリーフォニックス ステューデントブック1: 基本の42音の発音とつづり(子音・母音)NLTなしで通す	15	単元テスト①
	はじめてのジョリーフォニックス ステューデントブック2: Unit 1 ~ 6 同音異つづり	10	単元テスト②
	はじめてのジョリーフォニックス ステューデントブック2: Unit 7 ~ 12 同音異つづり	10	単元テスト③
	探究スキルラーニング① 辞書とデータベースの使い方(GW明け目安)	3	成果物(ワークシート等)
	New Treasure 1:Lesson 1 ~ 2「Be動詞の文1」「Be動詞の文2」	13	単元テスト④
	探究スキルラーニング② 人の紹介を英語でしてみよう	7	成果物(ワークシート等)
	1学期の復習(キュビナ)	5	
2学期	オリエンテーション	1	
	はじめてのジョリーフォニックス ステューデントブック2: Unit 13 ~ 23 同音異つづり *帯活動として実施	3	
	New Treasure 1:Lesson 3 ~ 4「一般動詞の文1, 2」「疑問詞1」	20	単元テスト⑦
	New Treasure 1:Lesson 5 ~ 6「所有代名詞、疑問詞2」「命令文・canを用いた文」	25	単元テスト⑧
	New Treasure 1:Lesson 7「現在進行形」	10	単元テスト⑨
	探究スキルラーニング③ 世界旅行の様子をインスタアップ!	3	成果物(ワークシートなど)
	探究スキルラーニング④ ○○な生き物図鑑	5	成果物(ワークシートなど)
	Online Speaking Training	8	
	英検二次試験対策	4	スピーキングテスト①
	長文読解のまとめ・聞き取りの実践	4	リーディングテスト① / リスニングテスト①
3学期	2学期の復習(キュビナ)	12	
	New Treasure 1:Lesson 8「一般動詞の過去形」 *チャックを帯活動として実施	20	単元テスト⑩
	探究スキルラーニング⑤ 疑問を見出すトレーニング	3	成果物(ワークシートなど)
	New Treasure 1:Lesson 9「be動詞の過去形」	20	単元テスト⑪
	New Treasure 1:Lesson 10「be going to / 助動詞」	20	単元テスト⑫
4学期	探究スキルラーニング⑥ ノートティング(コーネルノート)	7	成果物(ワークシートなど)
	長文読解のまとめ、聞き取りの実践	6	リーディングテスト② / リスニングテスト②
	1年生の総復習(キュビナ)・長文	14	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	道徳	道徳	1	必修	ホームルーム

科目的目標	○レジリエンス教育を通してメタ認知的な視点を身につけ、適切な自己受容・他者受容につなげ自己肯定感を育む。 ○ダイバーシティ教育として、様々な人権問題について深く学び道徳的価値観を広め、それに基づいた生き方についての自覚を深化させる。 ○様々な活動の発表や講演、交流事業を通して多面的、多角的な道徳的理解を基礎とした実践力を育成する。 これらの軸を通じて、今後の社会においてよりよく生きるために基礎となる道徳性を養う。
評価の方法	数値による評価は実施しない。 授業で使用したワークシートや振り返りにおける生徒の記述、授業中のようすなどから個々の道徳性の成長を見取る。 評価は年度末に記述で通知する。
教科書・教材	東書 新訂新しい道徳1

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成 調査フェイズ	1	
	PBISを基にした目標の作成 目標設定	1	
	望ましい生活習慣	1	
	コンビテンシーについて～SEIKAIコンビロゴの作成～	3	
	レジリエンス①レジリエンスとは?②ネガティブ感情への対処法	2	
	久松山散策	3	
	伝統文化にふれよう	2	
2学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成 調査フェイズ	1	
	レジリエンス③自分の捉え方に気づく	1	
	カウンセリングのロールプレイ「傾聴」	2	
	身体・聴覚・視覚等障がいについて	3	
	勤労感謝の日について	3	
	校外研修	4	
	PBISを基にした学期の振り返り 次学期の目標設定	1	
3学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成 調査フェイズ	1	
	レジリエンス④ネガティブ感情	1	
	いのちの授業	4	
	礼儀・公共心		
	100人村WS	4	
	PBISを基にした学期・年間の振り返り / 道徳の振り返り	1	

対象学年	教科名	名称	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	総合的な学習の時間	探究Ⅰ	2	必修	学年

科目の目標	探究的な見方・考え方を働きかせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)多様なアイデアをもじによりよいアイデアへと発展させる活動を通して、アイデアを出す楽しさと他者の共感を得る喜びを実感できるようになる。 (2)地域の実態や実生活での経験に即したアイデア発想のために、文献や新聞などを活用して調査し、情報をまとめられるようになる。 (3)チーム内で役割を分担しながら探究活動を進める中で、自身の役割を精一杯遂行し、時には仲間を助け、よりよい成果物ができるようになる。		
評価の観点	<b>知識・技能</b> 多様なアイデアをもじによりよいアイデアへと発展させる活動を通して、アイデアを出す楽しさと他者の共感を得る喜びを実感できるようになったか。	<b>思考・判断・表現</b> 地域の実態や実生活での経験に即したアイデア発想のために、文献や新聞などを活用して調査し、情報をまとめられるようになったか。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> チーム内で役割を分担しながら探究活動を進める中で、自身の役割を精一杯遂行し、時には仲間を助け、よりよい成果物を作ることができたか。
評価の方法	探究活動の成果物(アイデアの試作品や発表会の内容)と成果物作成までの過程(チームでの取り組み状況等)から総合的に評価する。		
教科書・教材	学びの技(玉川大学出版部)		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	図書館活用オリエンテーション	2	
	探究ガイドンス	2	
	思考ツール(マトリクス)	2	
	アイデアキャンプ	6	
	思考ツール(マインドマップ)	4	
	「お祭り」のマインドマップ作成	2	
	「お祭り」に必要な要素の抽出	2	
	魅力的なお祭りのアイデア(第1弾)創出	4	
	中間発表	2	
	日本古来のお祭り調査	4	
	お祭りのアイデアの修正	4	
2学期	アイデアの可視化・プロトタイプ(試作品)作成	14	
	相手にわかりやすく伝えるとはどういうこと?	4	
	中間発表資料作成	4	
	中間発表会(校内)	2	
	中間発表振り返り	2	
	提案アイデアやプロトタイプの修正	8	
3学期	提案アイデアやプロトタイプの修正	8	
	発表資料作成	4	
	発表準備・練習	6	
	青開学会(探究活動成果発表会)	6	
	青開学会振り返り	2	
	1年間の振り返り	2	